

社会資本整備審議会 道路分科会 基本政策部会 コメント

■ 「高速道路における安全・安心基本計画」について

3. (2) 2) 高速トラック輸送の効率化

①ダブル連結トラックの利用促進に向けたインフラ環境整備

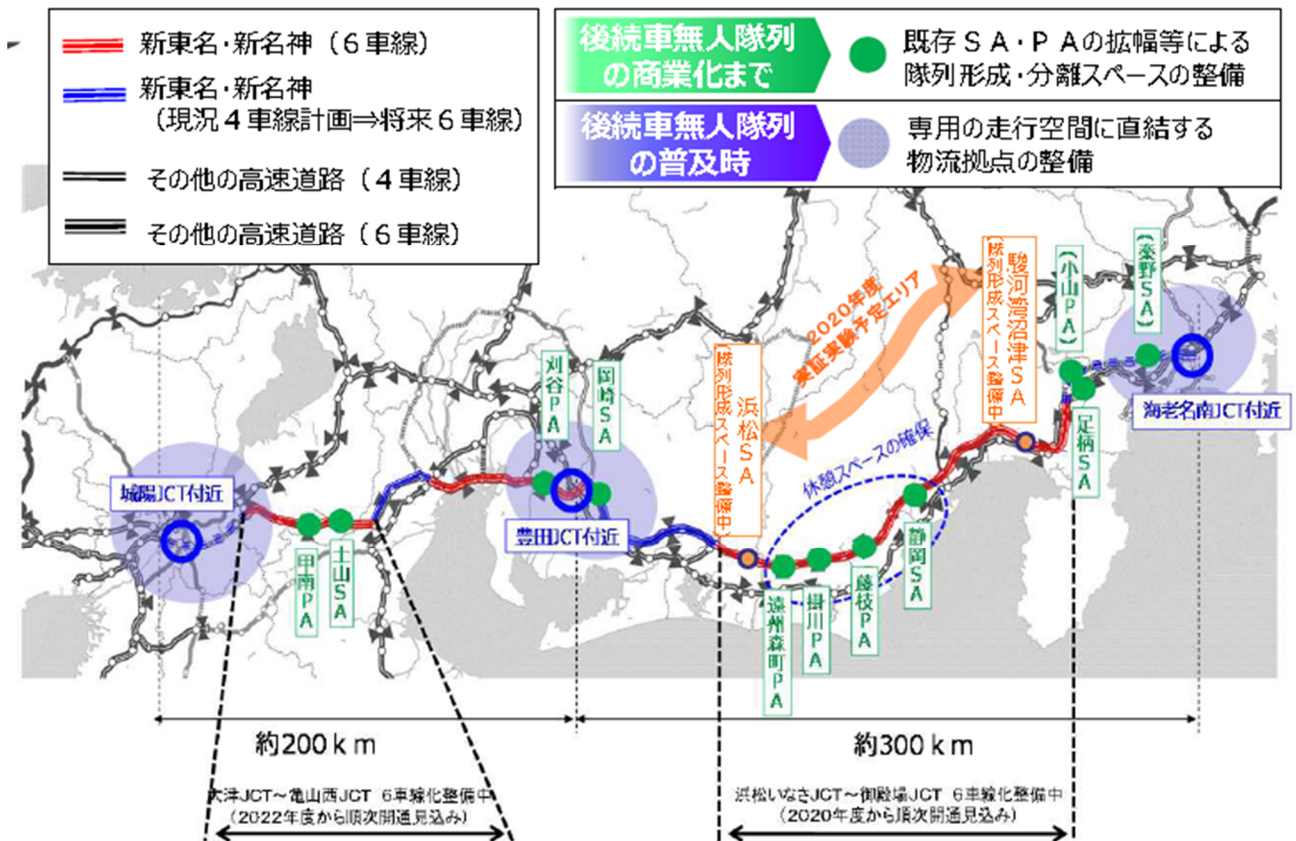
今後、全長 23m 超のダブル連結トラックは、十数～数十 [台/年] 規模で増加することが想定されている。それを前提とすれば、

- ・SA/PA の駐車スペースの確保、高速道路からの一時退出を可能とする駐車施設の外部化 などが不可欠。
- ・また、非常時の回避経路の確保を念頭においた、大型トラックの隘路打開策も、重要物流道路との連携により実現されたい。

②後続車無人隊列走行の実現を見据えたインフラ環境整備

隊列車の連結・解除場所を必要とする高速道路における隊列走行（トラックおよび高速バス）においては、同インフラ施設の整備が欠かせない（下図）。幸い、わが国の長距離幹線輸送の半分以上は、東名～名神区間に集中しており、まずは、この 500km 区間内の施設整備を目指せば良い。高速道路上の走行速度も比較的安定しているため、机上の計算ではあるが、次ページのようなダイア構成が想定されるし、それによる物流効率化の効果も大きいと想定される。

【新東名・新名神における新しい物流システムに対応したインフラのイメージ】



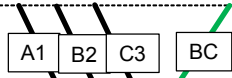
**CASE 1:**

A,B,C...:運転手, 1,2,3...:トラック

トラックOD→

	厚木	豊田	茨木
厚木	0	1	2
豊田	0	0	1
茨木	0	0	0

厚木付近



20分

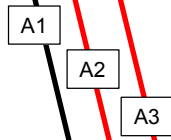
海老名南J

— 有人  
— 無人  
— 乗用車

GW: GateWay, PS: Platooning Station

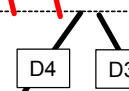
4時間30分 (休憩含)

豊田付近



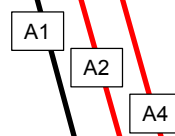
20分

豊田J



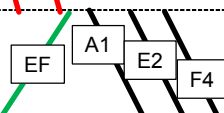
3時間

城陽J



20分

城陽付近



**ドライバーの合計運転時間の比較**

CASE 1 - with 隊列:

A:  $20+10+270+30+180+10+20=540$

B,C,D,E,F:  $20+10+20=50$

Total =  $540+50*5=790$

CASE 1 - without 隊列:

厚木→茨木:  $20+270+180+30+20=520$

厚木→豊田:  $20+270+20=310$

豊田→茨木:  $20+180+20=220$

Total:  $520*2+310+220=1570$

削減率 =  $(1570-790) / 1570 = 50\%$

## CASE 2: (中継輸送)

トラックOD→

A,B,C…:運転手, 1,2,3…:トラック

厚木付近

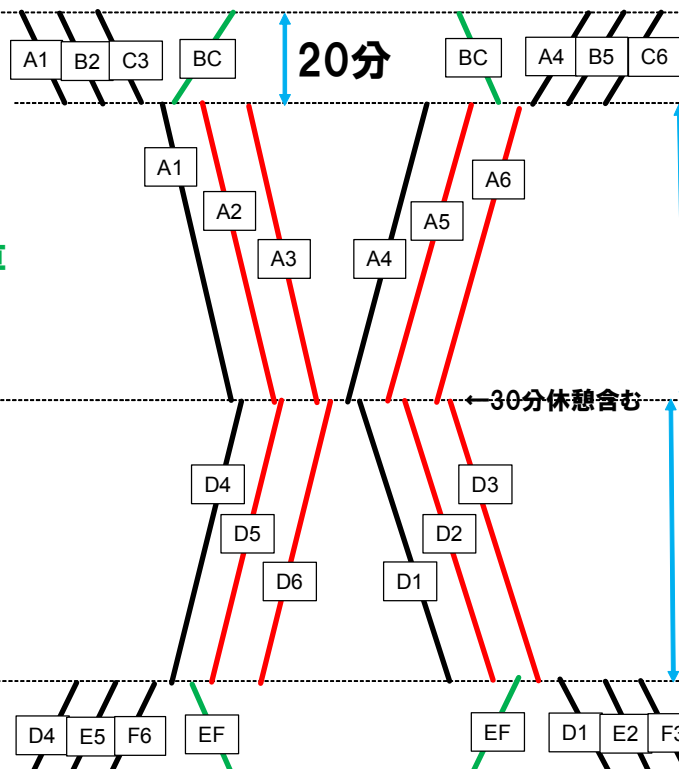
海老名南J

— 有人  
— 無人  
— 乗用車

CE浜松

茨城陽J

城陽付近



	厚木	豊田	茨木
厚木	0	0	3
豊田	0	0	0
茨木	3	0	0

## ドライバーの合計運転時間の比較

CASE 2 - with 隊列:

$$A,D: 20+10+240+30+240+10+20=570$$

$$B,C,E,F: 20+10+20=50$$

$$\text{Total}=570*2+50*4=1340$$

CASE 2 - without 隊列:

$$\text{厚木} \leftrightarrow \text{茨木}: 20+240+30+240+20=550$$

$$\text{Total}: 550*6=3300$$

$$\text{削減率} = (3300-1340) / 3300 = 59\%$$

・高い削減率が確認できる

3. (5) 2) 高速バスの利便性向上, 3) 訪日外国人旅行者への対応

いずれも, MaaS の進展なども考慮すれば, 通信キャリアのサービスとの連携がキーとなる. DSRC とのタイアップも期待されるが, 5G の普及も考慮すれば, DSRC に頼らない高速道路サービスの高度化も視野にいれるべきではないか.

5. (1), (2), (3), (4), (5)

いずれも「料金体系」について言及されており,

「高いサービス水準を有する高速道路」

「利用者負担のありかたについて検討」

「維持管理・更新を意識した料金体系」

「混雑状況への対応」

「ETC 限定の料金体系」

など多様な視点からの料金体系の検討可能性が示唆されている. まだ散発的なアイデアが披露されている段階のようだが, 利用者の理解を得るための公正な議論が開始されることを望む.

以上